

変化する社会と医療保険

～ 健保組合の新たな挑戦～

2022年に健康保険法は制定から100年を迎えました。この大きな節目の年にあたり、健保連は、21年度から22年度にかけて、有識者と健保組合からなる検討委員会を立ち上げ、「医療保険制度の将来構想の検討のための調査研究」を実施しました。

検討の過程で、新型コロナウイルス感染症まん延後の社会の変化等も視野に入れ、今後の医療・介護保険制度、健保組合、医療提供体制、診療報酬のあり方等にあわせて、制度運営のデジタル化、効率化等も検討対象とし、2040年に想定される医療・医療保険制度を取り巻く社会情勢の変化について整理しました。

本シンポジウムでは、昨年5月に公表した報告書をご紹介しつつ、「医療ニーズの変化、医療費の増加への対応」、「多様な働き方の包摂と制度の持続性の確保」、「健保組合に求められる役割」をテーマとして、パネリストの皆さまにさまざまな視点に立った意見をうかがうことで、提言を補強し、その実現に向けた筋道を立てるとともに、健保組合が挑むべき課題を明らかにする契機としたいと考えています。

開催日時

令和6年3月4日(月) 14:30～17:30

参加無料

会場先着順

ZOOM
による
ライブ配信

会場

イノホール&カンファレンスセンター Room A
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目1-1 飯野ビルディング4階

主催



健康保険組合連合会

東京都港区赤坂8-5-26
(住友不動産青山ビル西館内)

プログラム

14:00 開場

14:30 開会挨拶 佐野雅宏(健康保険組合連合会 副会長)

<第1部 基調講演>

14:35 総論的講演 将来構想検討委員会座長 森田朗氏(東京大学 名誉教授)

14:55 将来構想検討委員会報告書の概要

松本展哉(健康保険組合連合会 総合企画室長)

15:10 パネリストによるプレゼンテーション

伊藤由希子氏(津田塾大学 総合政策学部 教授)

佐保昌一氏(日本労働組合総連合会 総合政策推進局 総務局長)

高久玲音氏(一橋大学大学院 経済学研究科 准教授)

15:55 休憩

<第2部 パネルディスカッション>

16:10 パネルディスカッション

大林尚氏(モデレーター:日本経済新聞社 編集委員)

伊藤由希子氏、佐保昌一氏、高久玲音氏

宮前暢明氏(北海道農業団体健康保険組合 専務理事)

秋山実(健康保険組合連合会 理事)

17:30 閉会



申込 URL

<https://meeting15.jp/jp/join-event/health-federation2024march/138>

お問い合わせ先

みずほサーチ&テクノロジーズ株式会社

社会政策コンサルティング部 シンポジウム事務局 担当: 田中(陽)、小曾根、井上、浅井、牛込

東京都千代田区神田錦町2-3 竹橋スクエアビル Tel: 03-5281-5277(平日10時～17時) e-mail knp2024@mizuho-rt.co.jp

変化する社会と医療保険 ～健保組合の新たな挑戦～

講演者



森田朗氏（東京大学 名誉教授）

（一社）次世代基盤政策研究所（NFI）代表理事。（株）協和キリン社外取締役。1976年東京大学法学部卒。行政学、公共政策の研究者として、千葉大学法経学部教授、東京大学大学院法学政治学研究科教授、同公共政策大学院教授・院長、学習院大学法学部教授、国立社会保障・人口問題研究所所長、津田塾大学総合政策学部教授を歴任。財務省関税・外国為替等審議会会長、総務省政策評価審議会会長代理、厚生労働省中央社会保険医療協議会（中医協）元会長。

パネリスト



伊藤由希子氏（津田塾大学 総合政策学部教授）

2001年東京大学経済学部卒業。2006年米国 Brown 大学経済学博士課程修了・同経済学博士（Ph.D.）。東京経済大学経済学部専任講師、東京学芸大学人文社会科学系経済学分野准教授、津田塾大学総合政策学部准教授を経て、2018年より現職。専門は医療経済学および国際経済学。2015年から内閣府経済・財政一体改革推進委員会委員を務める。東京医科大学兼任教授、東京医科歯科大学非常勤講師等を兼務。



佐保昌一氏（日本労働組合総連合会 総合政策推進局総局長）

1982年旧宇目町役場（現佐伯市役所）入庁、社会福祉協議会や地域包括支援センターでも勤務、2012年大分県後期高齢者医療広域連合賦課・資格管理係長に就任。また、佐伯市労働組合（2006年～）、自治労（2013年～）にて役職を担い、2019年より現職。厚生労働省の中医協、社会保障審議会の医療部会、生活困窮者自立支援及び生活保護部会、年金部会等の委員を務める。社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員（ケアマネは実務復帰前に要再研修）。



高久玲音氏（一橋大学大学院 経済学研究科准教授）

慶応義塾大学で 2015年に博士号取得。日本経済研究センター研究員、医療経済研究機構主任研究員を経て 2019年に一橋大学経済学研究科に着任。この間、全世代型社会保障構築会議構成員、東京都地域医療構想アドバイザー、日本医師会医療政策会議委員、東京都医師会病院委員会委員、厚生労働省行政事業レビュー外部有識者などを歴任。専門は医療経済学と応用ミクロ計量経済学。



宮前暢明氏（北海道農業団体健康保険組合 専務理事）

2017年、北海道農業団体健康保険組合常務理事に就任。同年、健康保険組合連合会常務理事に就任し、健保連本部の各種委員会に所属する。医療保険制度の改革推進に関する事項について調査・研究を行う医療保障総合政策調査会委員長を務め、「医療保険制度の将来構想のための調査研究」（2021～2022年度）に検討委員会委員として参画する。2018年に全国農業団体健康保険組合協議会会長に就任。2020年より現職。

モデレーター



大林尚氏（日本経済新聞 編集委員）

早稲田大学卒業後、日本経済新聞社へ。東京本社経済部記者として通産省（現経済産業省）、日銀、経済企画庁（現内閣府）、厚生省（現厚生労働省）などの記者クラブに所属し、経済政策の立案を取材した。経済部次長を経て、編集委員兼論説委員として医療・年金改革、消費税と財政、規制改革、独占禁止法などに関する社説やコラムを執筆した。2014年より欧州総局編集委員、欧州総局長としてロンドンに駐在し、EU 各国の社会保障・税制や BREXIT を決めた英国国民投票を取材。2017年に帰任し上級論説委員、2021年より現職。慶応義塾大学総合政策学部特別招聘教授。武蔵野大学客員教授。